

稲作情報(Vol.8)

令和8年8月17日
石巻地方米づくり推進本部
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/>

管内の出穂期は7月31日で平年より1日早い。収穫適期は9月上旬の見込み。

7月下旬以降の気象経過

7月下旬の気温は平年を下回り、平年より1.6℃低く推移しました。日照時間は平年比45%と大幅に下回っています。降水量は期間中167mm(平年比454%)と、多量の降雨がありました。8月も低温多雨傾向が続いています。

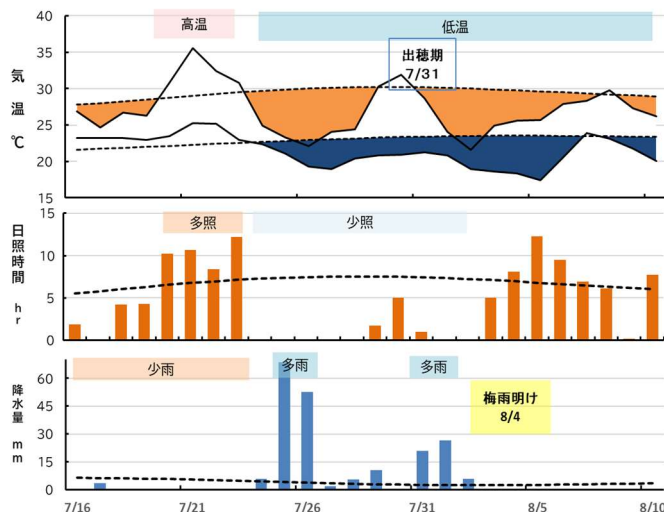


図1 7月下旬以降の気象経過(アメダス石巻)

※平年値はアメダス5カ年平均

水稻の生育状況

<移植栽培>

- ◎ 出穂期は7/31~8/3と平年より2~4日遅くなりました。
- ◎ 穂揃期の葉色は30.8~36.1で、ひとめぼれは平年並、ササニシキは薄い~濃いと、ほ場により差がありました。
- ◎ 止葉葉位は、12.4~13.2枚で、平年並となりました。

表1 移植栽培の生育調査ほ等の調査結果(穂揃期調査)

品種名	地区名	田植月日	出穂始期 (平年差)	出穂期 (平年差)	穂揃期 (平年差)	穂揃期葉色 (平年差)	止葉葉位 (平年差)	備考
ひとめぼれ	石巻市広瀬	5/7	7/29 (+3)	7/31 (+3)	8/3 (+3)	31.4 (-0.3)	13.2 (+0.6)	0は参考値
	東松島市矢本	5/8	7/29 (+3)	7/31 (+3)	8/3 (+4)	31.2 (+0.3)	12.6 (-0.0)	
ササニシキ	石巻市桃生	5/12	8/1 (+3)	8/3 (+2)	8/5 (+1)	30.8 (-2.2)	12.4 (-0.6)	
	石巻市稲井	5/9	7/31 (+3)	8/3 (+4)	8/6 (+3)	36.1 (+1.9)	12.8 (+0.1)	

<乾田直播栽培>

- ◎ ササニシキの出穂期は8/5と平年より4日遅くなりました。穂揃期葉色は35.0で平年並でした。止葉葉位は12.5枚で平年並でした。
- ◎ ひとめぼれでは出穂期が8/6で、穂揃期の葉色は33.9、止葉葉位は11.8枚で、平年並でした。

表2 乾田直播栽培の生育調査ほ等の調査結果(穂揃期調査)

品種名	地区名	播種日 (平年差)	出穂始期 (平年差)	出穂期 (平年差)	穂揃期 (平年差)	穂揃期葉色 (平年差)	止葉葉位 (平年差)	備考
乾直ササニシキ	石巻市河南	3/29	7/31 (+0)	8/5 (+4)	8/7 (+3)	35.0 (+0.3)	12.5 (+1.0)	
乾直ひとめぼれ	石巻市桃生	3/18	8/2 (+0)	8/6 (+1)	8/8 (+1)	33.9 (-3.9)	11.8 (+1)	0は前年比

表 3 管内及び県の出穂状況

	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
石巻管内	7/28	7/31	8/15頃
前年	7/26	7/30	8/8
平年	7/28	8/1	8/9
宮城県	7/26	8/1	-
前年	7/25	7/30	8/6
平年	7/28	8/1	8/9

※平年値は、過去 10 か年から最も早い年と遅い年を除いた
8 か年の平均

管内全体の出穂期は 7/31 で、平年より 1 日遅くなりました。乾田直播栽培は、移植栽培より数日遅れて出穂しています。

県全体の出穂期は 8/1 で平年並となりました。

今後の管理

1 水管理

- ◎ 出穂から落水までは、十分に水分を与えつつ酸素を供給する間断かん水とし、高温時は「飽水管理」や「昼間深水・夜間落水管理」で常に湿潤を保ちましょう。

※**飽水管理**：田面が浸るくらい水を入れ、自然落水により足跡の水がなくなったらごく浅めに入水する（表土が十分湿る程度）。

- ◎ 早期落水は、登熟不良や品質低下の原因となるので、出穂後 30 日を目安に

収穫作業に支障のない範囲でできるだけ遅く落水しましょう。

2 適期刈取

一般的なひとめぼれ、ササニシキの刈取早限にあたる成熟期は、籾の 80～90% が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から 3 分の 1 程度黄変したときとなります。出穂後の日平均積算気温からみた刈取適期の目安は表 4 及び表 5 のとおりです。

表 4 積算気温による刈取適期の目安

		管内出穂期		
		出穂始期 7/28	出穂期 7/31	穂揃期 8/15頃
刈取早限	940℃	9/7	9/10	9/27
刈取適期	1,000℃	9/9	9/12	10/1
刈取晩限	1,100℃	9/14	9/17	10/7

※8/16までは石巻アメダスの平均気温、その後はアメダス平年値(直近5か年)を用いて計算。

表 5 品種毎の刈取適期の目安

品種名	積算気温	出穂後日数
ひとめぼれ	940～1,100℃	40～45日
ササニシキ	930～1,150℃	45～50日
つや姫	1,000～1,200℃	50～55日
まなむすめ	960℃前後	45～50日
だて正夢	1,020～1,060℃	50日前後
金のいぶき	1,050～1,150℃	50～55日
みやこがねもち	1,000℃前後	45～50日

東北地方 1 か月予報

(8月15日から9月14日までの天候見通し)

令和8年8月13日仙台管区气象台 発表※抜粋

東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	20	70
【降水量】	東北太平洋側	40	30	30
【日照時間】	東北太平洋側	30	40	30
<気温の階級の確率(%)>		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	40	50
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	10	20	70

宮城県農薬危害防止運動実施中！(6月1日から8月31日)

宮城県では、6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底し、農薬の販売、使用方法、性質に関する正しい知識及び関係法令等の周知を図ることで、農薬による事故等の発生を防止し、本県産農産物の「食の安全・安心」を確保することを目的に運動を実施しています。

農作業中の熱中症を予防しましょう！！

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です！！

予防のポイント

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



熱中症対策アイテム

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍



ウェアラブル端末、応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩の質を高めたいときに活躍



ミストファン